

# 令和2年 12 月 東御市教育委員会 定例会会議録

---

## 1 日 時

---

令和2年(2020年)12月25日(金) 午前9時00分から午前10時30分まで

## 2 場 所

---

中央公民館 学習室5

## 3 議 題

---

(1)協議(審議・検討)

議案第25号 不登校未然防止および不登校児童生徒への支援のための行動指針  
について

議案第26号 学区外就学の認定について

(2)新型コロナウイルス感染症対応について

(3)ICT 環境整備について

(4)報告

ア 教育課

(ア)いじめ、不登校の状況等について

(イ)学区外就学の認定について

(ウ)就学援助費支給の認定について

(エ)上小教育委員会連絡協議会総会及び研修会開催日程について

イ 生涯学習課

(ア)成人式について

(イ)東御市子どもの読書活動推進計画(素案)について

## 4 出席者

---

○教育長 小山 隆文

### ○委員

教育長職務代理者 下村 征子

委員 小林 経明

委員 小林 利佳

委員 直井 良一

### ○その他

小林教育次長、柳沢教育課長、樋沢生涯学習課長、

土屋学校教育係長、正村社会教育・公民館係長、小宮山図書館係長

畑田指導主事、長岡指導主事、唐澤学校教育係主査、土屋学校教育係主任

## 会議録

---

小林教育次長

ただいまから、12月度定例教育委員会を始めます。教育長から開会宣言をお願いします。

小山教育長

おはようございます。

12月度定例教育委員会の開会を宣言します。

昨日を持って、12月定例議会が閉会となりましたが、肩の荷が下り、少しホッとしているところであります。今般は、小林教育次長に答えて頂きましたが、「GIGAスクール構想」と「ICT教育」に関わるご質問を頂きました。次年度より、いよいよ一人一台のタブレット端末を活用した教育活動がスタートしますが、ICT支援員等の応援を頂き、先生方の研修を計画的に進めながら、教育効果が上がるように準備をして参りたいと考えております。

私の方は、12月8日（火）の議会開会で、「とうみ気候非常事態宣言」を市長より発信して頂きましたが、学校において、「これまでの環境学習、特に、温暖化についての取組がどうであったか」、加えて、「今後の学校の取組について」の再質問を頂きました。本年度を含め、これまでの取組についてお伝えをすると共に、コロナ禍で不十分な点はあったかと思われませんが、児童会や生徒会で取り組んで頂いているSDGs（持続可能な開発目標）を軸にした活動や活動の意義をお伝えしました。

さて、話は変わりますが、12月1日（火）には、小林経明教育委員に窓口になって頂き、東御市ロータリークラブから、「伝統のたすき、地域をつなぐプロジェクト」として、祢津地区子ども会育成連絡協議会にストップウォッチ等を、北御牧地区一周駅伝大会実行委員会に横断幕と看板を頂きました。以前には、小林利佳教育委員の繋がり、東御市ライオンズクラブからアルコールの消毒液を頂きました。労を取って頂いたお2人の教育委員さんには心より感謝を申し上げます。

又、先日になりますが、12月22日（火）には、日信工業株式会社の川口社長様より多額のご寄付を頂戴しました。こちらは、学校の図書館や音楽活動の充実に使わせて頂く計画です。

コロナ禍の厳しい経済状況にも関わらず、地域の皆様方から真心のご支援を頂けますことに改めて御礼を申し上げたいと思います。誠に有り難うございました。

結びになりますが、残すところ数日で新たな年を迎えようとしております。コロナ対策に注力しつつ、健康管理には十分に気を付けて頂いて、次年度もお力添えを頂きたいと願っておりますので宜しくお願いします。

(1)協議(審議・検討)

小山教育長

議案第25号 不登校未然防止および不登校児童生徒への支援のための行動指針について説明をお願いします。

長岡指導主事

不登校未然防止および不登校児童生徒への支援のための行動指針を市として作成するよう、県から指示がありました。基本的な方針としては、「新たな不登校を生まない」ということと、「不登校が長期化している児童生徒の社会的自立に向けた支援」を重点としています。常にそれぞれの学校や教育委員会で行っていることでありますが、いじめや不登校にならない環境づくりを行って参ります。居場所、授業、特性のある子どもたちの対応、困ったときに相談のできる体制づくり、諸問題の根源になっているインターネットに対する対策などひとつひとつ、学校と対象の児童生徒と家庭の関係を基本にしながら支援をしていくことを考えています。

小山教育長

東御市の行動指針ということで、作成しました。来年は仮称ですが、子育て教育支援センターの準備の年ということで、不登校対策、不登校支援の元年度となると思います。先生方にも積極的に読んでいただき、市の方向と学校の方向が一致するように、丁寧に対応していく必要があります。不登校対応は、組織の連携、情報の共有、寄り添った支援の具体を皆が理解しながら進めていくということが大事であると思います。

ご意見、ご質問等ございますでしょうか。

小林経明委員

「誰が進めていくのか」という点を明確にしておく必要があると思います。

現在、最も重要とされる「校長のリーダーシップ」を最初に記載してはいかがでしょうか。

小山教育長

学校に主体性を持っていただくため、「校長のリーダーシップ」を強調していきたいと思います。

下村委員

4月に異動する教職員もおりますので、来年度にも学校へ周知して頂きたいと思います。

小山教育長

令和3年度の4月当初についても、お願いをしていきたいと思います。

校長教頭は、常に不登校児童生徒を把握しながら、情報をつかんで丁寧な支援をしていかなければ

ればなりません。そこへ教育委員会も子育て教育支援センター（仮称）が伴走という形をとって、子どもの行動観察や、きちんと引継ぎがされたことが授業や普段の生活の中で活かされているかどうか、というところまでチェックをさせていただきながら、応援体制を組んでいきたいと思います。一つでも二つでもプラスの事例を獲得することで、「やればできる」という状況を少しずつ広げたいと思います。

#### 小林利佳委員

切れ目のない情報共有と支援について、これまでも特別な支援が必要な児童生徒については台帳が作成してありましたが、保育園・幼稚園のころから、小学校・中学校へと引継いでいける個別の台帳があれば、うまく連携ができると思いますが、いかがでしょうか。

#### 小林教育次長

情報の一元化ということで、母子手帳が交付された時から、継続したデータ管理をしていきたいということで、関係各課と話をしているところです。子育て教育支援センター（仮称）の来年度以降の立ち上げを計画しており、ここで整理をしていきたいと思います。

#### 小林経明委員

重要なことは、一人の子どもに対して関係する皆が同じ情報を得られるということです。紙ベースではこれは難しいです。

#### 畑田指導主事

昨年からは、関係者に Access を入れてもらい、そこにデータを入れていく方法をやり始めています。ただ、運用にあたり、データを引き出す際、技術的な問題があります。

#### 小山教育長

担任の先生を巻き込み、情報の共有は十分できると思います。ただ担任がその都度子どもの記録を残していくということは、今の日課からは難しいと感じます。情報を私達がもらい、私達が記録することはできると思います。担任には打合せしたことを教室で実践してほしいと思います。

#### 小山教育長

議案第 26 号 学区外就学の認定については、個人情報に関係もありますので非公開とします。よろしいでしょうか。

#### 全委員

異議なし。

小山教育長

それでは、非公開とします。

## (2)新型コロナウイルス感染症対応について

小山教育長

続きまして、(2)新型コロナウイルス感染症対応について説明をお願いします。

小林教育次長

新型コロナウイルス感染症対策としてこの1ヶ月でどのようなことがあったか、ご報告させていただきたいと思います。

小学校については1月に計画しているスキー教室をどのように実施したらよいか意見交換を行いました。その中で、昼食の場所、指導員との接触が気になるということでございました。これらを解決することにより、スキー教室を実施するというのでございます。昼食の場所については貸し切りとなるようお願いしました。貸し切りが可能な場所では実施していただき、不可能な場所は学校で協議していただくこととなりました。指導員につきましては、日本プロスキー連盟の中で、スキー教室を行う場合のガイドラインが示されており、それに従って行うこととなりました。

中学校の修学旅行については、現在の2年生ですが東部中学校は2月に予定していたものを7月下旬、北御牧中学校は4月に予定していたものを8月下旬に延期しました。

## (3)ICT 環境整備について

小山教育長

続きまして、(3)ICT 環境整備について説明をお願いします。

小林教育次長

現在 Wi-Fi の環境整備を進めているところであります。これまでは市町村ごとに ICT 機器の設置状況、取り組み状況に温度差があり、ICT 教育の進め方についても、まちまちでありましたが、コロナの影響により、全国で一斉に ICT 環境が整ったところであります。積極的に使うのか使わないかで、学校現場で教育の密度に差が出てしまうのではないかと危惧されるところであります。東御市教育委員会としても ICT 機器をしっかりと教育に取り入れることを意識していかなければならないと思います。

現状を報告いたします。タブレットと Wi-Fi の整備状況ですが、昨日(12月24日)に北御牧中学校に、タブレットが入りました。1月中に田中小、滋野小、和小、北御牧小、2月中に東部中、祢津小でタブレットの配備を予定しています。

職員への研修については1月18日以降、教師向けのガイドラインの作成については2月中旬

を目途に行っていきたいと思います。

デジタル教科書の試行的導入については、国が進める事業の中で実施していきたいと思いません。

また、県の副市長、総務部長会議へ議題の提出をしています。「県による ICT 機器活用の標準を示していただきたい」というものです。県内の市町村ごとに機器の活用状況に温度差があり、教職員の異動等を含め、義務教育として均衡化が図れないことから議題の提出をさせていただきました。

小山教育長

保護者向けの通知等はどのように行いますか。

小林教育次長

来年の2月か3月の広報や、学校のお便りで周知していきたいと考えています。

下村委員

タブレットはツールでありますから、タブレットで授業を行えばそれによしとするのではなく、実際に体験することも大切にしていきたいと思いません。

小山教育長

五感で事実に向き合うことが感動を生み、感動が学びの意欲につながると思いません。タブレットを使うことで楽な方に流れてはいけなとと考えています。

畑田指導主事

ICT は知識を深めるためのツールではありますが、今まで ICT が進まなかつたのは、「他でもできれば使わなくてもよい」という考え方があつたからです。今はそれを使いこなすことも狙いの一つであるということは言わなければいけなと、効果的な使い方を研究することが必要であると思いません。

小山教育長

学校教育が変わる一つのチャンスになってくると思いません。期待感は大いに膨らんでおります。生の体験を積み上げながらも、持っている機器を活用していただきたいと思いません。

(4) 報告

小山教育長

続きまして、(4) 報告に移ります。順次報告をお願いします。

長岡指導主事

ア教育課(ア)いじめ、不登校の状況等について説明いたします。

(説明内容 非公開)

土屋学校教育係主任

(イ)学区外就学の認定について説明いたします。

(説明内容 非公開)

土屋学校教育係主任

(ウ)就学援助費支給の認定について説明いたします。

(説明内容 非公開)

唐澤学校教育係主査

(エ)上小教育委員会連絡協議会総会及び研修会開催日程について説明いたします。令和3年度の開催日が5月17日(月)に決定いたしました。東御市が当番幹事となります。

正村社会教育・公民館係長

イ生涯学習課(ア)成人式について説明いたします。令和2年度の成人式については8月14日に延期し、令和3年度成人式は8月15日に開催することといたしました。会場はラ・ヴェリテでございます。

また、1月9日については、市長のビデオメッセージをホームページに掲載する予定です。

小宮山図書館係長

(イ)東御市子ども読書活動推進計画(素案)について説明いたします。

10月の定例教育委員会でご説明させていただきました読書計画の素案ですが、その際にご指摘いただいた点の修正、追加したものをご説明させていただきます。

(資料説明)

また、パブリックコメントを現在実施しております。

小山教育長

本日の議題は以上です。それでは、12月度定例教育委員会を閉会します。